



第 20 回全国タウンマネジメント会議

本会議は、第 17 回、18 回、19 回と継続して開催してきた全国タウンマネジメント会議の流れを踏まえ、改めて「まちづくり」を実践の視点から捉え直すことを目的に開催いたします。

『今、まちづくりを実践の視点から考える』(IN 福岡)

まちづくり協会ではこれまで、市民による地域からのまちづくりの視点、ならびにそれを支え協働する行政の視点から、第 17 回（2022 年度）、第 18 回（2023 年度）、第 19 回（2024 年度）の全国タウンマネジメント会議を開催してきました。これらの会議を通じて、市民の主体的な活動と、それを支える行政との連携のあり方について議論と共有を重ねてきました。第 20 回となる今回は、特に地域活動や産業活性化などに取り組む若手実践者・活動家に焦点を当てます。実践に至るきっかけや地域資源の活かし方、活動初期における試行錯誤や悩み、活動の継続性、さらには自治体や地域団体等との関わり方について話をうかがいながら、各地における実践の広がりや、人材を見つけ、育て、つなげていく一連のまちづくり活動について考え、理解を深める場としたいと考えています。その背景には、人口減少や地域経済の縮小など厳しい地域状況の中において、足元の課題や自らの目線、日々の活動の延長線上からまちづくりを捉え、具体的な実践として積み重ねていくことの重要性があります。

本会議では、これまで 3 回の会議での学びを踏まえつつ、人口問題や地域の持続可能性といった困難な課題が山積する現在において、あらためてまちづくりを「実践する視点」から考える契機とすることを目指しています。そのため、今回は福岡県をフィールドとして、多様なまちづくり活動につながる実践を行っている 3 名の方々をお招きし、活動の概要をご報告いただくとともに、テーマである「今、まちづくりを実践の視点から考える」について意見交換を行い、議論を深めていきたいと考えています。

- **日時** : 2026 年 3 月 7 日（土）、13:30 ~ 16:30
- **開催方法** : 会場参加および Zoom を利用したハイブリット開催
- **会場** : 福岡県中小企業振興センター 403 号室（福岡県福岡市博多区吉塚本町 9-15）
(アクセス : <https://www.joho-fukuoka.or.jp/access.html>)
- **参加費** : どなたでも参加いただけます（無料）。

※ 非会員の方で会場参加の場合は、当日資料代等として千円を申し受けます。

尚、終了後には講師の方々にもご参加いただき、懇親会を予定しております（有料）。

- **申込み** : 2026 年 3 月 5 日（木）までに、下記の URL か QR コードから
<https://forms.gle/TXHtCpTof3D196r96>
各種項目をご明記のうえ申し込みください。※ Zoom 参加の方には 3 月 6 日（金）に参加用パスワード等をお送りします。（裏面：プログラム）



＝プログラム＝

13:30 開 会

【総合司会/モデレーター】

長瀬 光市 氏 (NPO 法人まちづくり協会 副理事長/福岡県大木町 副町長)

挨拶と主題説明：NPO 法人まちづくり協会 理事長 増田 勝

13:40 第1部 実践報告 (80分・各25分)

(1) 大木町「地域農業と連携したカプトムシ資源循環」

藤田 康太郎 氏 (地域おこし協力隊)

(2) 「糸島循環型産業の創出～メンマづくりを通じた竹林整備と雇用の創出」

古賀 貴大 氏 (株式会社竹次郎)

(3) 「さとづくり48～日の里団地再生プロジェクト」

牛島 玄 氏 (西部ガス株式会社都市リビング開発部)

【休憩 10分】

15:10 第2部 パネルトーク (80分)

(1) パネラーによる意見交換

上記講演者3名(①藤田氏、②古賀氏、③牛島氏)による意見交換

【コメンテーター】

増田 勝 氏 (同 上)

榎本 健次 氏 (NPO 法人まちづくり協会 理事/志士の会 代表)

(2) 参加者との質疑・意見交換

(3) 閉会挨拶：長瀬 光市 氏 (同 上)

16:30 閉 会

【パネラープロフィール(敬称略)】

- 藤田 康太郎 (ふじたこうたろう)：茨城県出身、福岡県三潴郡大木町在住。大学時代からのインターンを通し、大木バイオクリエーションズ(TOMUSHI)にてカプトムシ資源循環事業に従事。現在九州大学ビジネススクールにて経営学を学ぶ。大木町地域おこし協力隊。(https://www.tomushi.com)
- 古賀 貴大 (こがたかひろ)：2021年4月、社会課題である放置竹林を活用した国産メンマ作りのプロジェクトをスタート。メンマ作りをビジネス化することで竹林整備や雇用創出という循環型のモデルを構築し、さらに食料自給率の向上、六次産業の実現、地域コミュニティの形成、雇用創出による過疎化防止など、日本の里山を救うことを目指している。(https://mugen-menma.com/)
- 牛島 玄 (うしじまげん)：2011年西部ガス入社。ハウスメーカーへの都市ガス営業や住宅会社に出向して不動産売買などに従事。18年よりまちづくりソリューションGへ異動。九州市小倉にある区画整理事業「ボンジョーノ」のエリマネ組織運営や戸建住宅管理組合の企画・運営などを担当。19年からは日の里団地再生プロジェクトに従事している。(https://stzkr.com/)

◇ NPO 法人まちづくり協会 ◇

〒156-0043 東京都世田谷区松原4-31-1

(http://npo-tma.org)

■主な事業

- ①全国タウンマネジメント会議(毎年1回、これまで18回開催。)
- ②おしかけフォーラム(無料まちづくり支援) // ③ミニフォーラム(26年2月第143回)
- ④地方訪問(全国会員の地元を参加可能な会員数名で訪問し意見交換などを行う。)
- ⑤収益事業の受注 // ⑥会報「季刊まちづくり協会」発行(26年1月現在38号)
- ⑦研究会の開催 // ⑧まちづくり情報の提供